

【農業土木施工】 土層改良に関する記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでるのはどれか。

- A. 客土は、作土の厚さが不足しているときや、作土の土性が不適當なときのほか、農業機械の走行性を確保するための地耐力が不足しているときにも、行われることがある。
- B. 作土の土性が不適當なときに行う客土に使用する土質は、土層改良対象地の土質と近いものが望ましく、たとえば砂質土の土地には砂質土を、粘質土の土地には粘質土を客土するのが一般的である。
- C. 表土が耕作に適さない土壤で、下層に耕作に適する肥沃な土層がある場合に、これらに耕起、混和、反転などを行って、作土層厚の増加や作土の理化学性の改良を図る土層改良工法を、混層耕という。
- D. 重粘土層をもつ畑においては、床締めを行い、土壤の透水性・通気性を高める。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. C, D

正答 ②

【農業に関する基礎】

アキアカネ（赤とんぼ）の生活史と水田の水管理に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

アキアカネは、水田に水が張られると、の前にふ化し、の期間に幼虫期を過ごして、の前に羽化する。羽化した成虫は、山地へ移動して夏を過ごし、稲刈り後の水田に戻り、十分に湿った泥や水たまりに産卵し、卵の状態越冬する。卵は、非かんがい期の水田の乾燥に対して、ある程度は耐えることができる。

- | | A | B | C |
|----|------|------|------|
| 1. | 中干し | 田植え | 浅水管理 |
| 2. | 中干し | 浅水管理 | 田植え |
| 3. | 田植え | 中干し | 浅水管理 |
| 4. | 田植え | 浅水管理 | 中干し |
| 5. | 浅水管理 | 田植え | 中干し |

正答 ④